

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていた
だきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 気仙沼市立面瀬中学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等教育学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒988-0206
宮城県気仙沼市岩月寺沢44番

E-mail : omose-jh@blue.ne.jp

Website : _____

児童生徒数：男 126 名 女子 99 名 合計 225 名
 児童・生徒の年齢 12 歳～ 15 歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容については、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

テーマ	「文化としてのスポーツ」(2年次)
1	<p>ESDでめざすもの</p> <p>(1) ESDのねらい</p> <p>本校では、「文化としてのスポーツ」をテーマに、様々な身体活動や身体表現をとおして、生きることの可能性を広げ、人間としての多様で豊かな感覚を養うことを目指している。</p> <p>(2) ESDで育てたい力(資質・能力及び態度)</p> <p>人間の尊重、多様性の尊重、非排他性、機会均等、環境の尊重等の資質を高めるためのコミュニケーション能力やソーシャルスキル等の力を育てる。</p>
2	<p>本校のESDの概要</p> <p>(1) 取組の概要</p> <p>本校では、東日本大震災後の生徒の教育環境の劇的な変化や、心のケアの問題等様な課題が生まれたことを受け、昨年度から本テーマのもとでESDの活動に取り組んでいる。「文化としてのスポーツ」におけるエンカウンターグループでの活動は、多様なメンバーのグループの中で、他者との感情交流をもつ人間関係を作り、人間関係を通して自己発見と他者受容を目指す心理的手法であることから、対人緊張を和らげ自己受容や他者受容をしやすいとする。従って、このような手法を取り入れることで、格差、男女差、年齢差、障害の有無など多様性をもった他者と自然な対人交流を展開させることができ、ESDの目標とする多様性の受容、共生の精神が培われると考え3年計画でスタートした。</p> <p>(2) 本校のESDのプログラム</p> <p>① ESDのプログラム</p> <p>ア 桐蔭横浜大学や総合型地域スポーツクラブNEOの協力を得ながら実践する。</p> <p>イ ESD教材として、バランスボールやニュースポーツを取り入れる。</p> <p>ウ 総合的な学習の時間における縦割りコース別学習の中に、「文化としてのスポーツ」に関連するような内容を取り入れる。</p> <p>② 桐蔭横浜大学との連携を図る。</p> <p>ア 「文化としてのスポーツ」推進について打合せ</p> <p>イ エンカウンターグループについての学習会</p> <p>ウ 演題「ESDからみたエンカウンターグループ」桐蔭横浜大学 徳田英次先生</p> <p>エ バランスボールの有効利用法についての学習会 平成25年8月23日(金)</p> <p>実施：演題「Gボールのトレーニング利用のための原理と方法」桐蔭横浜大学 徳田英次先生</p> <p>③ 総合型地域スポーツクラブNEO</p> <p>ア 第1回ふれあい交流 平成25年5月19日(日)実施</p> <p>イ 第2回ふれあい交流 平成25年10月20日(日)実施</p> <p>④ 総合的な学習の時間「スポーツ表現コース開設」</p> <p>平成25年7月12日(金)～平成25年10月30日(水)実施</p> <p>ア マット運動やダンスの学習</p> <p>イ 文化祭で演技発表 平成25年10月27日(日)実施</p>

(2) 活動時間について(下記から選択して下さい。)

通常の授業時間を使用(総合的な学習の時間を含む)

時間外活動の時間を使用

ユネスコクラブの活動として実施

その他()